

# ¡VIVA MÉXICO! 7月

日墨戦略的グローバルパートナーシップ 広島大学総合科学部 田代涼

## El último mes en México, vamos para playa!!!



テストも終わり、あと残された1か月をどのように過ごすか。わたしは、最期の7月のうちの1週間をメキシコのリゾート地であるカンクンへ旅行することに決めました。それも、バスで。メキシコはバスツアーがかなり充実しており、約10日間の間で、チアパス、カンクン、メリダ、タバスコを巡ることができました。

バスツアーをお勧めするのは、乗っていれば到着すること、そして何よりも友人がたくさんできるということです。今回の同乗者は大半が中年の方々でしたが、日本人であるわたしを助けてくれ、日本の文化に非常に興味を持ってきてくれました。この旅の大半はビーチでゆっくりするというものでしたが、わたしはそれ以上にマヤ文明の文化が残る遺跡や、セノーテという洞窟の中の泉などの大自然にとっても感銘を受けました。



リゾート地に来て感じたのはそれだけではありません。メキシコは基本的に物価は安いのですが、カンクンはかなり物価が高いと感じました。というのも、



リゾート地で見るのはアメリカやヨーロッパからの観光客や、メキシコ内の富裕層であるとみられる人々の多さに圧倒されました。メキシコという国に来て、ずっと感じるのは何よりも貧富の差であり、ビーチで寝転がりお酒を飲む人のすぐ横でフルーツや小物を歩き売りする人がいる光景とい

うのは、日本人のわたしとしては見慣れないものでした。リゾート地はもっと

顕著でした。メキシコの良いところを周りに伝えたいと思いますが、それ以外の事実もしっかり伝えられたれなと思います。

## Nos vemos prontito!!

ついに、メキシコでの一年が終わってしまいました。この一年を一言で表すのであれば、挑戦であると思います。まずスペイン語もまなならないなかメキシコへ留学しようと思った一昨年の秋、そこから志望理由書に追われた冬、準備も十分にできないまま渡航した去年の夏。昨日のことかのように思い出されます。



でも今の自分ならあの時の自分に自信を持って、頑張れと背中を押すことができたろうと思います。日本にいた頃の自分は自分に自信はなく、いつも誰かを頼ったり、他の人の真似をしたりして生きていました。しかし、メキシコに来て様々な人と出会い、別に人と同じことをする必要も、正しいことは決めつける必要はないと感じました。メキシコ人の国民性であるゆったりとした生活に自分の身を置くことで、あまり小さなことを気にしなくなったり、自分が決めたことに自信を持って取り組んだりできるようになりました。しかしそれ



以上に、メキシコで出会った友人たちの存在はこれから自分の人生においてずっと心に残っていくことと思います。ある友人に言われた言葉があります。“Eres una persona genial con una gran estrella”「あなたには大きな星が輝いているのよ」今までの人生においてこのような言葉を受けたこと

がなく、今まで自分に自信がなく、友人も少なかったわたしにとって、最高の誉め言葉でありました。この一年を何事もなく無事に終えることができたのは、広島県庁の方々及び、広島県人会の平田ビクトルさん夫妻、ここで出会えたかけがえのない友人、いつも温かい空間を提供してくれたホストファミリー、日本で陰ながら支えてくれていた家族の存在があったからだ強く思います。日

本に戻り、何かしらの形で恩返しができたらなと思っています。本当に有難うございました。